

「人を思いやり 自分を信じて たくましく生きる」・・・2023.12 学校評価より

◆令和5年度の学校評価・児童自己評価・保護者評価を次のように実施しました。

- ・令和5年12月 ・全保護者と全校児童を対象
- ・タブレット配信にて実施
- ・質問に対する回答を以下の5つから選択

「5：よくあてはまる 4：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：ほとんどあてはまらない」

◆集計結果を次のようにまとめてあります。

- ・「肯定的評価」＝「5+4/全体」の割合(%)
- ・「評価」＝「5 4 3 2 1」の平均値

No.	項目	肯定的評価(%)		評価	
		児童	保護者	児童	保護者
16	学校での生活は楽しい	70	77	4.05	4.13
2	授業中、仲間の考えや思いを聞いている	89	73	4.51	3.96
1	自分の考えや思いを仲間の前で話すことができた	73	56	4.11	3.6
19	学級の話合いで考えを深めたり広げたりしている。	72	67	4.07	3.74
20	授業でタブレットをよく使っている	91	80	4.61	4.11
17	目標や将来の夢をもっている	83	60	4.37	3.70
14	自分にはよいところがあると思う	74	79	4.11	4.07
7	目標をたて、挑戦している	80	64	4.27	3.81
5	委員会や学級の係や当番の活動をがんばっている	88	83	4.58	2.12
15	担任の先生は、自分のよいところを認めてくれる	80	79	4.33	4.21
4	仲間と一緒に活動し、達成感を味わうことができた	85	82	4.34	4.10
3	自分と仲間を大切に生活している	91	49	4.56	4.2
6	仲間のよさを見つけることを大切にしている	85	80	4.35	4.15
12	友達関係に満足している	86	81	4.52	4.16
8	安全に気を付けて運動や外での遊びをよくしている	79	70	4.27	3.94
9	生命を大切にし、健康に気を付けている	88	82	4.53	4.21
10	人が困っているときは進んで助けるようにしている	89	79	4.51	4.02
11	人をいじめたり見て見ぬふりをしたりしていない	93	95	4.72	4.59
13	地域での行事や活動に参加している	64	58	3.86	3.58
18	普段の生活でしあわせな気持ちになることはある	80	87	4.15	4.31

令和5年度 学校経営の全体構想

- ・子供たちが生きる“これからの時代”
- ・学習指導要領
- ・県の教育ビジョン
- ・市の教育大綱
- ・小中連携「思いやりと活気」

岐阜市立加納西小学校

学校の教育目標

人を思いやり
自分を信じて たくましく生きる

のばしたい児童の姿と乗り越えたい課題

- 穏やかで礼儀正しく、ルールやマナーを守ることができる児童が多い。
- 自分の役割を果たすことや仲間と協力して活動することができる。
- 日常的に仲間のよさを認めたり、困っている仲間にあたたかい声かけをしたりする姿が見られる。
- 真面目な態度で授業に参加し、仲間との対話による学び合いを楽しむ姿がある。
- 失敗をおそれずに挑戦したり、主体的に問題解決に取り組んだりすることに弱さがある。
- 学習や活動の意義を振り返って自身の努力や成長を自覚することがやや弱い。
- 仲間と話し合っ得られたことが、集団をより高めようとする動きにつながっていない。

めざす学校像

- ・子供たちが満足し、保護者が信頼し、地域が応援したくなる学校
- ・子供たちの笑顔と歓声、温かなまなざしと真剣な表情があふれる場所

めざす子供の姿

- ・夢や目標の実現に向けて努力できる子
「がんばったことがある。成長できたことがある。自分にはよさがある。だから、これからもあきらめないで挑戦しよう。」
- ・人とのつながりを大切に、誰かのために貢献できる子
「仲間から学んだ。仲間と一緒によかった。仲間の役に立ちたい。だから、これからも人と支え合って生きよう。」

2023年度 指導の重点 キーワード『共に挑戦』

「自分の考え・表現を伝えたい。」
「仲間の考え・表現を知りたい。」
「仲間との学びに手応えを感じる。」 と言える子

「対話」による深い学び

「授業で話し合うことが楽しい」↑

「自分のよさはこれだ。」
「児童会活動やたてわり活動にわくわくする。」
「仲間のよさを大切にしたい。」 と言える子

自己有用感につながる「マイノート」

「自分にはよいところがあると思う」↑

「学級の宝物はこれだ。もっとよくなるよう挑戦する。」
「遊ぶことや体を動かすことが楽しい。」
「命・健康・環境は自分で守る。」 と言える子

「やらされる」から「自分たちでつくる」本物へ

「学校での生活は安全で楽しい」↑

○ 生き方の探究学習

生命の尊厳の理解

○ 学校にも地域にも「ありがとう」の一言が自然に出せる一年

挑戦・自信

あいさつ・思いやり・感謝・貢献

指導・支援の方向 (常時意識したいこと)

○ 努力の評価や成長の自覚、自信、意欲に結びつく価値付け

● 否定的な言動や威圧的・感情的指導の排除

自己肯定感を高める心地よい関係づくり

家庭・地域の教育力向上

- ・願いの共有と支援の拡充(コミュニティスクール)
- ・地域とともに体験や活動することに重点を置いた土曜授業
- ・各活動の意味やよさの積極的な情報発信
- ・コロナ禍における「柔軟な学校」(HP、タブレット端末)

労務管理と業務の質的変換

- ・全校での行事やキャンペーンを焦点化(2ヶ月に1活動)
- ・学年部研究授業、全校研究授業にかわる日常的な実践研究
- ・ICTを活用したペーパーレスの書類作成、結果処理の効率化
- ・諸会議のデジタル提案と柔軟な時間調整(無駄な時間の減少)

学校評価の活用

- ・数値目標の設定と肯定的評価前年度比アップ【単純比較にとどまらない結果分析】
(「授業で話し合うことが楽しい」「自分にはよいところがあると思う」「学校での生活は安全で楽しい」)
- ・学校運営協議会評価、保護者評価、児童評価の実施(基本的には年度1回<12月>)